

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	スポーツ科学科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	スポーツ外傷論 I		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時限	後期	教室名	
担 当 教 員	中村信之 (Dr)、川村智広	実務経験とその関連資格	中村Dr: 整形外科医、JSPOスポーツドクター 川村: JSPO-AT、柔道整復師、鍼灸師			
《授業科目における学習内容》						
スポーツ現場で見られる重篤外傷や体幹および上肢のスポーツ外傷・障害について詳しく知り、理解を深める。この授業で学ぶ知識が、傷害予防や評価、救急処置、アスレティックリハビリテーションなどに活用することが期待される。						
《成績評価の方法と基準》						
1. 授業内課題 20% 2. 期末テスト 50% 3. 出席・平常点 30%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
公認アスレティックトレーナー専門テキスト 第2巻「安全・健康管理およびスポーツ外傷・障害の予防」						
《授業外における学習方法》						
機能解剖学の知識を結びつけ、できる限り具体的かつ現場で活用できる形で理解するため、触察や評価法などを駆使すること。						
《履修に当たっての留意点》						
解剖など基礎医学の知識を抜きにしては理解を深めることができない。よく復習して臨むこと。 また、この授業で学ぶ知識が、現場での業務に直結することを常に留意し学習すること。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	スポーツ傷害の定義、原因となるストレス、組織の修復過程などを理解する。	教科書	当該範囲の事前学習	
		各コマにおける授業予定	イントロダクション スポーツ外傷・障害総論 重篤な外傷 頭部			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	脳損傷や脳振盪など頭部外傷について、予防策を講じ、かつ発生時には適切な対応ができるよう理解を深める。	教科書	前回範囲の復習および当該範囲の事前学習	
		各コマにおける授業予定	重篤な外傷 頭部			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	脊髄損傷や気胸などの胸部損傷について予防策を講じ、かつ発生時には適切な対応ができるよう理解を深める。	教科書	前回範囲の復習および当該範囲の事前学習	
		各コマにおける授業予定	重篤な外傷 脊髄損傷・胸腹部外傷・大出血			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	顔面の傷害について発生時に適切な対応ができるよう理解を深める。合併症についても鑑別できるよう意識する。	教科書	前回範囲の復習および当該範囲の事前学習	
		各コマにおける授業予定	その他の外傷 顔面・目・鼻・耳・歯			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	腰部、股関節の傷害について、予防策を講じ、かつ発生時には復帰まで適切な対応ができるよう理解を深める。	教科書	前回範囲の復習および当該範囲の事前学習	
		各コマにおける授業予定	体幹のスポーツ外傷・障害 頸部			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	腰部、股関節の傷害について、予防策を講じ、かつ発生時には復帰まで適切な対応ができるよう理解を深める。	教科書	前回範囲の復習および当該範囲の事前学習
		各コマにおける授業予定	体幹のスポーツ外傷・障害 腰・背部・骨盤		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	肩関節周囲の傷害について、予防策を講じ、かつ発生時には復帰まで適切な対応ができるよう理解を深める。	教科書	前回範囲の復習および当該範囲の事前学習
		各コマにおける授業予定	上肢のスポーツ外傷・障害 肩部		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	肩関節周囲の傷害について、予防策を講じ、かつ発生時には復帰まで適切な対応ができるよう理解を深める。	教科書	前回範囲の復習および当該範囲の事前学習
		各コマにおける授業予定	上肢のスポーツ外傷・障害 肩部		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	肘関節周囲の傷害について、予防策を講じ、かつ発生時には復帰まで適切な対応ができるよう理解を深める。	教科書	前回範囲の復習および当該範囲の事前学習
		各コマにおける授業予定	上肢のスポーツ外傷・障害 肘関節		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	手・手指周囲の傷害について、予防策を講じ、かつ発生時には復帰まで適切な対応ができるよう理解を深める。	教科書	前回範囲の復習および当該範囲の事前学習
		各コマにおける授業予定	上肢のスポーツ外傷・障害 手・手指		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	頭頸部を中心に重篤な外傷を復習する。	教科書	前回範囲の復習および当該範囲の事前学習
		各コマにおける授業予定	重篤な外傷・障害 まとめ		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	体幹の傷害を復習する。	教科書	前回範囲の復習および当該範囲の事前学習
		各コマにおける授業予定	体幹の外傷・障害 まとめ		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	体幹の傷害を復習する。	教科書	前回範囲の復習および当該範囲の事前学習
		各コマにおける授業予定	体幹の外傷・障害 まとめ		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	上肢の傷害を復習する。	教科書	前回範囲の復習および当該範囲の事前学習
		各コマにおける授業予定	上肢の外傷・障害 まとめ		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	上肢の傷害を復習する。	教科書	前回範囲の復習および当該範囲の事前学習
		各コマにおける授業予定	上肢の外傷・障害 まとめ		